

令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	北極海－大気－植生－凍土－河川系における水・物質循環の時空間変動
研究代表者	檜山 哲哉 (名古屋大学・宇宙地球環境研究所・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、北ユーラシアをフィールドとして、水蒸気トレーサーモデル、陸域生態系モデル、凍土モデル、河川モデルを統合した、国際的にも他に例を見ない意欲的な統合モデルを独自に開発・改良して、北極海海水縮小による北ユーラシアの大気－陸域水循環の変動と植生や積雪との関係を解明しようとするものである。</p> <p>本研究は、地球温暖化において重要な地域を対象としており、明確な学術的問いに基づいた独創的なものである。北極域の海洋・大気・陸域を統合した、意欲的でよく準備された研究提案であり、国際的貢献も大きい。北ユーラシア凍土域の湛水域時系列マップと植生変化時系列マップの作成及びこれらマップの世界への公開が実現すれば、温暖化による環境変動予測に大きく貢献すると期待できる。</p>